

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2002-48869(P2002-48869A)

【公開日】平成14年2月15日(2002.2.15)

【出願番号】特願2000-238223(P2000-238223)

【国際特許分類】

G 0 1 T	1/20	(2006.01)
<i>G 0 1 T</i>	<i>1/161</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

G 0 1 T	1/20	B
G 0 1 T	1/161	D
G 0 1 T	1/161	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】放射線の入射によって発光するシンチレータと、前記シンチレータと光学的に結合された光検出器と、該光検出器の検出信号を処理する信号処理装置と、を具備したシンチレーション検出器であって、

前記シンチレータが、検出対象となるベータプラス線の線源に近設された線源側シンチレータと、前記線源側シンチレータと発光減衰時間が異なり、前記線源側シンチレータと前記光検出器とを光学的に結合する光検出器側シンチレータと、を含み、

前記信号処理装置が、前記線源側シンチレータ、及び前記光検出器側シンチレータの発光に応じた前記光検出器の検出結果に基づいて、前記線源側シンチレータ及び前記光検出器側シンチレータ双方に発光が認められた場合に、前記線源側シンチレータの発光が、前記検出対象となるベータプラス線によるものを含むと判別してなるシンチレーション検出器。

【請求項2】放射線の入射によって発光するシンチレータと光学的に結合された光検出器の検出信号に基づいてベータプラス線を検出する方法であって、

前記シンチレータが、検出対象となるベータプラス線の線源に近設された線源側シンチレータと、前記線源側シンチレータと発光減衰時間が異なり、前記線源側シンチレータと前記光検出器とを光学的に結合する光検出器側シンチレータと、を含む状況下で、

前記線源側シンチレータ、及び前記光検出器側シンチレータの発光に応じた前記光検出器の検出結果に基づいて、前記線源側シンチレータ及び前記光検出器側シンチレータ双方に発光が認められた場合に、前記線源側シンチレータの発光が、前記検出対象となるベータプラス線によるものを含むと判別してなるベータプラス線を検出する方法。